

届出

[平成21年度設置]

計画の区分：学部設置

注1

高知工科大学 工学群、環境理工学群、情報学群

注2

【届出】設置に係る設置計画履行状況報告書

公立大学法人 高知工科大学
平成22年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名 総務部

職名・氏名 総務部長 福田 直史

電話番号 0887-53-1111

（夜間） 0887-53-1111

F A X 0887-57-2000

e-mail fukuda.naofumi@kochi-tech.ac.jp

（注）1 「計画の区分」は届出時の基本計画書の「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

届出時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には届出時の旧名称を記載いただき、その下欄に（ ）書きにて、現在の名称を記載してください。

例） 〇〇大学 △△学部

（□□学部）

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例）

- ・学部の設置の場合：「〇〇大学 〇〇学部」
- ・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 〇〇学部 〇〇学科」
- ・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 〇〇学科」
- ・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- ・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 〇〇学部 〇〇学科（通信教育課程）」

「留意事項実施状況報告書」の場合は、表題を修正してください。

— 書類目次 —

	Page
1 調査対象大学等の概要等	1
2 授業科目の概要	
2-1 システム工学群	8
2-2 環境理工学群	16
2-3 情報学群	22
3 施設・設備の整備状況, 経費	28
4 既設大学等の状況	29
5 教員組織の状況	
5-1 システム工学群	30
5-2 環境理工学群	44
5-3 情報学群	56
6 留意事項に対する履行状況等	66
7 その他全般的事項	67

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

公立大学法人 高知工科大学
 (H21.1.9 設置者変更認可申請書を提出。H21.3.19に認可。)
~~学校法人 高知工科大学~~

(2) 大学名

高知工科大学

(3) 大学の位置

〒782-8502
 高知県香美市土佐山田町宮ノ口185

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
 ・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職 名	届 出 時	変 更 状 況	備 考
理 事 長	(トオゴウ キヨシ) 十河 清 (平成20年4月)	(オカムラ ハジメ) 岡村 甫 (平成21年4月)	設置者変更に伴う 理事長の変更 (21)
学 長	(サクマ タケト) 佐久間 健人 (平成20年4月)		
システム工 学 群 長	(チョウノ シゲオミ) 蝶野 成臣 (平成21年4月)		
環境理工 学 群 長	(ナルサワ タダシ) 成沢 忠 (平成21年4月)		
情 報 学 群 長	(イワタ マコト) 岩田 誠 (平成21年4月)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 平成19年度に報告済の内容 → (19)

平成22年度に報告する内容 → (22)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて見え消し修正するとともに、上記と同様に「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。

(5) 調査対象学部等の名称，定員，入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部・学科または研究科の専攻等，定員を定めている組織ごとに記入してください。
 ・ 様式は，平成19年度開設の4年制の学科の場合（平成22年度までの4年間）ですが，開設年度・修業年限に合わせて作成してください。（修業年限が3年以下の場合には欄を削除し，5年以上の場合には，欄を設けてください。）

(5) - ① 調査対象学部等の名称，定員

調査対象学部等の 名称（学位）	設 置 時 の 計 画				備 考
	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
	年	人	年次 人	人	
システム工学群 学士（工学）	4	170	4	688	
環境理工学群 学士（理工学）	4	90	3	366	
情報学群 学士（情報工学）	4	100	3	406	

- (注) ・ 定員を変更した場合は，「備考」に変更前の人数，変更年月及び報告年度を（ ）書きで記入してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

〈システム工学群〉

区分	対象年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平均入学定員 超過率	備考
A	入学定員	(-) 170	(-) 170	()	()	1.12 倍	
	志願者数	(-) 2504	(-) 1338	()	()		
	受験者数	(-) 2467	(-) 989	()	()		
	合格者数	(-) 310	(-) 203	()	()		
B	入学者数	(-) 192	(-) 190	()	()		
	入学定員超過率 B/A	(-) 1.12	(-) 1.11	()	()		

〈環境理工学群〉

区分	対象年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平均入学定員 超過率	備考
A	入学定員	(-) 90	(-) 90	()	()	1.08 倍	
	志願者数	(-) 1367	(-) 438	()	()		
	受験者数	(-) 1348	(-) 343	()	()		
	合格者数	(-) 180	(-) 119	()	()		
B	入学者数	(-) 98	(-) 97	()	()		
	入学定員超過率 B/A	(-) 1.08	(-) 1.07	()	()		

〈情報学群〉

区分	対象年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平均入学定員 超過率	備考
A	入学定員	(-) 100	(-) 100	()	()	1.08 倍	
	志願者数	(-) 977	(-) 654	()	()		
	受験者数	(-) 962	(-) 457	()	()		
	合格者数	(-) 163	(-) 112	()	()		
B	入学者数	(-) 110	(-) 106	()	()		
	入学定員超過率 B/A	(-) 1.10	(-) 1.06	()	()		

- (注) ・ () 内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「-」を記入してください。
- ・「平均入学定員超過率」には、開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。入学定員超過率については、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入し、平均入学定員超過率も同様の方法としてください。
 - ・「平成22年度」には、平成22年5月1日現在の状況を記入してください。
 - ・「平成19～21年度」には、確定した数値を記入してください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

〈システム工学群〉

学 年 \ 対象年度	平成 2 1 年度	平成 2 2 年度	平成 2 3 年度	平成 2 4 年度	備 考
1 年次	[-] 192	[-] 190	[]	[]	
2 年次		[-] 189	[]	[]	
3 年次			[]	[]	
4 年次				[]	
計	[-] 192	[-] 378	[]	[]	

〈環境理工学群〉

学 年 \ 対象年度	平成 2 1 年度	平成 2 2 年度	平成 2 3 年度	平成 2 4 年度	備 考
1 年次	[-] 98	[-] 97	[]	[]	
2 年次		[-] 97	[]	[]	
3 年次			[]	[]	
4 年次				[]	
計	[-] 98	[-] 194	[]	[]	

〈情報学群〉

学 年 \ 対象年度	平成 2 1 年度	平成 2 2 年度	平成 2 3 年度	平成 2 4 年度	備 考
1 年次	[-] 110	[-] 106	[]	[]	
2 年次		[-] 106	[]	[]	
3 年次			[]	[]	
4 年次				[]	
計	[-] 110	[-] 212	[]	[]	

(注) ・ [] 内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- ・ 各年度の5月1日現在の状況を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

〈システム工学群〉

区 分 対象年度	退学者数（a）	入学者数（b）	入学者に対する 退学者数の割合 （a/ b）
平成 2 1 年度	計 [0] 0	（累積）計 [0] 192	[0 %] 0 %
	うち平成 2 1 年度入学者 0人	うち平成 2 1 年度 192人	
	（主な退学理由）		
平成 2 2 年度	計 [0] 3	（累積）計 [0] 382	[0 %] 0 %
	うち平成 2 1 年度入学者 3人	うち平成 2 1 年度 192人	
	うち平成 2 2 年度入学者 0人	うち平成 2 2 年度 190人	
	（主な退学理由） 進路変更		
平成 2 3 年度	計 []	（累積）計 []	[%] %
	うち平成 2 1 年度入学者 人	うち平成 2 1 年度 人	
	うち平成 2 2 年度入学者 人	うち平成 2 2 年度 人	
	うち平成 2 3 年度入学者 人	うち平成 2 3 年度 人	
	（主な退学理由）		
平成 2 4 年度	計 []	（累積）計 []	[%] %
	うち平成 2 1 年度入学者 人	平成 2 1 年度 人	
	うち平成 2 2 年度入学者 人	平成 2 2 年度 人	
	うち平成 2 3 年度入学者 人	平成 2 3 年度 人	
	うち平成 2 4 年度入学者 人	平成 2 4 年度 人	
	（主な退学理由）		

〈環境理工学群〉

区 分 対象年度	退学者数（a）	入学者数（b）	入学者に対する 退学者数の割合 （a/b）
平成 2 1 年度	計 [0] 0	（累積）計 [0] 98	[0 %] 0 %
	うち平成 2 1 年度入学者 0人	うち平成 2 1 年度 98人	
	（主な退学理由）		
平成 2 2 年度	計 [0] 1	（累積）計 [0] 195	[0 %] 0 %
	うち平成 2 1 年度入学者 1人	うち平成 2 1 年度 98人	
	うち平成 2 2 年度入学者 0人	うち平成 2 2 年度 97人	
	（主な退学理由）		
	進路変更		
平成 2 3 年度	計 []	（累積）計 []	[%] %
	うち平成 2 1 年度入学者 人	うち平成 2 1 年度 人	
	うち平成 2 2 年度入学者 人	うち平成 2 2 年度 人	
	うち平成 2 3 年度入学者 人	うち平成 2 3 年度 人	
	（主な退学理由）		
平成 2 4 年度	計 []	（累積）計 []	[%] %
	うち平成 2 1 年度入学者 人	平成 2 1 年度 人	
	うち平成 2 2 年度入学者 人	平成 2 2 年度 人	
	うち平成 2 3 年度入学者 人	平成 2 3 年度 人	
	うち平成 2 4 年度入学者 人	平成 2 4 年度 人	
	（主な退学理由）		

〈情報学群〉

区 分 対象年度	退学者数 (a)	入学者数 (b)	入学者に対する 退学者数の割合 (a/b)
平成21年度	計 [0] 0	(累積) 計 [0] 110	[0 %] 0 %
	うち平成21年度入学者 0人	うち平成21年度 110人	
	(主な退学理由)		
平成22年度	計 [0] 1	(累積) 計 [0] 216	[0 %] 0 %
	うち平成21年度入学者 1人	うち平成21年度 110人	
	うち平成22年度入学者 0人	うち平成22年度 106人	
	(主な退学理由)		
	進路変更		
平成23年度	計 []	(累積) 計 []	[%] %
	うち平成21年度入学者 人	うち平成21年度 人	
	うち平成22年度入学者 人	うち平成22年度 人	
	うち平成23年度入学者 人	うち平成23年度 人	
	(主な退学理由)		
平成24年度	計 []	(累積) 計 []	[%] %
	うち平成21年度入学者 人	平成21年度 人	
	うち平成22年度入学者 人	平成22年度 人	
	うち平成23年度入学者 人	平成23年度 人	
	うち平成24年度入学者 人	平成24年度 人	
	(主な退学理由)		

(注)・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。

- ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・「入学者数に対する退学者数の割合」は、各対象年度における退学者数を開設年度から当該年度までの入学者（累積）で除した割合（%）を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に、その人数も含めて記入してください。
 - ・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
 - ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他
- ・「平成22年度」については5月1日現在の状況を記入してください。
- ・「平成19～21年度」には、確定した数値を記入してください。

2 授業科目の概要

2-1<システム工学群>

(1) 授業科目表

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単 位 数			専任教員等の配置					備 考
			必 修	選 択	自 由	教 授	准教授	講 師	助 教	助 手	
一 般 科 目	検証：日本の都市	1前・後		1							
	都市問題	1前・後		1							
	人権問題	1前・後		1							
	日本国憲法	1前		2							
	地域共生概論 1										科目追加による名称変更 (22)
	地域共生概論	1前		2							
	地域共生概論 2	2後		2							教育課程充実のため科目を追加 (22)
	文化としての戦略と戦術	1後		2							
	企業研究入門	1後		2							教育課程充実のため科目を追加 (22)
	現代日本社会における音楽										放送大学科目の開講に伴い科目変更 (21)
	音楽理論の基礎	1・2・3後		2							
	歴史と人間	1・2・3後		2							
	企業戦略と企業文化	1・2・3後		2							
	生命と人生の倫理	1・2・3後		2							
	社会学入門	1・2・3後									放送大学科目の開講に伴い科目変更 (22)
	2-1世紀の社会学	1・2・3 前・後		2							科目の効果的配置による開講時期の変更 (21)
		1後									
	基礎心理学	1前・後		2							科目の効果的配置による開講時期の変更 (22)
	教育社会学	1・2・3後		2							
		1・2・3後 1・2・3 前・後		2							科目の効果的配置による開講時期の変更 (21)
	技術者倫理	1・2・3後 1・2・3 前・後		2							科目の効果的配置による開講時期の変更 (21)
		1・2・3後 1・2・3 前・後		2							
	問題発見と解決の技法	1・2・3後 1・2・3 前・後		2							
	哲学への誘い	1・2・3後 1・2・3 前・後		2							放送大学科目の開講に伴い、科目変更及び科目の効果的配置による開講時期の変更 (21)
	自己を見つめる	1・2・3後 1・2・3 前・後		2							
		1・2・3後 1・2・3 前・後		2							科目の効果的配置による開講時期の変更 (21)
	社会福祉入門	1・2・3後 1・2・3 前・後		2							科目の効果的配置による開講時期の変更 (21)
	1・2・3後 1・2・3 前・後		2							科目の効果的配置による開講時期の変更 (21)	
人文地理学	1・2・3後 1・2・3 前・後		2							科目の効果的配置による開講時期の変更 (21)	
	1・2・3後 1・2・3 前・後		2							科目の効果的配置による開講時期の変更 (21)	
世界の名作を読む	1・2・3後 1・2・3 前・後		2							科目の効果的配置による開講時期の変更 (21)	
	1・2・3後 1・2・3 前・後		2							科目の効果的配置による開講時期の変更 (21)	
人類の歴史・地球の現在	1・2・3後 1・2・3 前・後		2							科目の効果的配置による開講時期の変更 (21)	
	1・2・3後 1・2・3 前・後		2							科目の効果的配置による開講時期の変更 (21)	
道徳教育論	1・2・3後 1・2・3 前・後		2							科目の効果的配置による開講時期の変更 (21)	
ジェンダーの社会学	1・2・3後 1・2・3 前・後		2							放送大学科目の開講に伴い科目変更 (22)	
2-1世紀の女性と仕事	1・2・3後 1・2・3 前・後		2							科目の効果的配置による開講時期の変更 (21)	
	1・2・3後 1・2・3 前・後		2							科目の効果的配置による開講時期の変更 (21)	
日本語表現法	1・2・3後 1・2・3 前・後		2							科目の効果的配置による開講時期の変更 (21)	
初歩のアラビア語	1・2・3後		2							教育課程充実のため科目を追加 (21)	

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					備 考
			必 修	選 択	自 由	教 授	准教授	講 師	助 教	助 手	
一 般 科 目	ドイツ語入門Ⅰ	1・2・3後 1・2・3 前・後		2							科目の効果的配置による開講時期の変更 (21)
	ドイツ語入門Ⅱ	1・2・3後 1・2・3 前・後		2							科目の効果的配置による開講時期の変更 (21)
	フランス語入門Ⅰ	1・2・3後 1・2・3 前・後		2							科目の効果的配置による開講時期の変更 (21)
	フランス語入門Ⅱ	1・2・3後 1・2・3 前・後		2							科目の効果的配置による開講時期の変更 (21)
	中国語入門Ⅰ	1・2・3後 1・2・3 前・後		2							科目の効果的配置による開講時期の変更 (21)
	中国語入門Ⅱ	1・2・3後 1・2・3 前・後		2							科目の効果的配置による開講時期の変更 (21)
	韓国語入門Ⅰ	1・2・3後 1・2・3 前・後		2							科目の効果的配置による開講時期の変更 (21)
	韓国語入門Ⅱ	1・2・3後 1・2・3 前・後		2							科目の効果的配置による開講時期の変更 (21)
	体育理論	1前・後		1							教員採用に伴う、担当教員の変更 (22)
	体育実技	1前・後		1							担当教員の変更 (22)
	文化としての日本のうた	1前		1							教育課程充実のため科目を追加 (21)
	考古学研究	1前		1							教育課程充実のため科目を追加 (21)
	人文科学特別講義 1	1前		1							教育課程充実のため科目を追加 (21)
	知的財産権と特許	3前		2							
	国際協力フロンティア	1後		2							
	技術と安全	2前		2		1					
	Reading/Listening 1	1前		1							
	Reading/Listening 2	1前		1							
	Science English	1後		1							
	Science Lab	1後		1							
	Thinking in English 1	2前		1							
	Thinking in English 2	2前		1							
	Science Reading1	2後		1							
	Science Reading2	2後		1							
	Global Citizen	3前		2							
	Business/TOEIC English	3前		2							
	Technical Reading	3後		2							
	Technical Presentation/Writing	3後		2							
	スタディスキルズ 1	1前		2							
	スタディスキルズ 2	1後		1							
	キャリア・プラン 1	3通		1							
	キャリア・プラン 2	3後		1							
	チャレンジポイント 1	1・2・3通		1							
	チャレンジポイント 2	1・2・3通		1							
	教養の物理学 1	1前		2							担当教員（兼任）の退職に伴う専任教員の追加 (21)
	教養の物理学 2	1前		2							
	現代化学の基礎	1後		2							
	生命科学	1後		2							

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					備 考
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
一 般 科 目	口腔科学	1前		2							教育課程充実のため科目を追加(21)
	応用化学概論	2後		2							
	ヒトの生物学	2後		2							
	宇宙とその歴史	1・2・3後		2							「教養の物理学1」で対応可能なため廃止(21)
	エネルギー学の基礎	1・2・3後		2							
	身近な統計	1・2・3後		2							
	科学的な見方・考え方	1・2・3後		2							
	技術革新を支える物質の科学	1・2・3後		2							教育課程充実のため科目を追加(21)
	バイオサイエンスで豊かな暮らし										放送大学科目の閉講に伴い科目変更(21)
	生物学の歴史	1・2・3後		2							
	惑星地球の進化										放送大学科目の閉講に伴い科目変更(22)
	変化する地球環境	1・2・3後		2							
	宇宙像の変遷と科学	1・2・3後		2							
	物質の科学と先端技術	1・2・3後		2							
	基礎数学1	1前		1							
	基礎数学2	1前		1							
	基礎数学演習	1前		1							
	数学1	1前・後 1前		2							教育課程充実のため開講時期を変更(21)
	数学2	1前・後 1前		2							教育課程充実のため開講時期を変更(21)
	数学3	1前・後 1後		2							教育課程充実のため開講時期を変更(21)
	数学4	1前・後 1後		2							教育課程充実のため開講時期を変更(21)
	数学5	2前		2							
	数学6	2前		2							
	数学7	2後		2							
	数学8	2後		2							
	コンピュータリテラシー	1前		2		2		1			
	情報科学1	1前		2		1	1				
	情報科学2	1後		2		1	1				
	情報科学3	1後		2			2				
専 門 科 目 (工学系共通)	力学基礎	1前		2		1					担当教員の変更(22)
	力学	1前		2		1	1				
	電気回路基礎	1前		2		1	1				
	地域活性化システム論Ⅰ										内閣府の事業に合わせ名称変更(21)
	地域再生システム論Ⅰ	1前		2							
	工学概論	2前		2		4	1				
	電磁気学基礎	2前		2		1	1				教員採用に伴う、担当教員の変更(22)
	電子回路基礎	2前		2		1					
	地球科学概論	2前		2							
	技術開発概論	2前		2							
	マルチメディアプレゼンテーション	2後		2		1					
	インターンシップ	3後		2		1					
	地域活性化システム論Ⅱ										内閣府の事業に合わせ名称変更(21)
	地域再生システム論Ⅱ	3後		2							

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					備 考
			必 修	選 択	自 由	教 授	准教授	講 師	助 教	助 手	
専 門 科 目 (専 門 基 礎 科 目)	デザイン基礎	1前		2			1				担当教員の変更 (22) 退職 (定年) に伴う、担当者の減少 (22) 退職 (定年) に伴う、担当者の減少 (22) 専任教員を追加し、オムニバス講義とする (22)
	運動と振動	1後		2		1					
	材料力学	1後		2		1	2				
	CAD・図学	1後		2		2	1				
	専門ガイダンス	1後		2		22	8	1			
	システム工学実験	1後		2		23	4				
	光学基礎	1後		2		7					
	熱力学	2前		2		8	1				
	流れの科学	2前		2		1					
	計測基礎	2前		2			1				
	制御基礎	2前		2		2					
	景観デザイン	2前		2		1					
	測量学 1	2前		2		1					
	企業見学	2後		1		3					
専 門 科 目 (機 械 系 科 目)	機械システムデザイン 1	2前		2		1					兼担当教員を追加し、オムニバス講義とする (22) 専任教員採用に伴い、担当教員を追加しオムニバス講義とする (22) 専任教員を追加し、オムニバス講義とする (22)
	機械加工学	2前		2		1					
	固体力学 1	2後		2		1	1				
	機械力学 1	2後		2			1				
	コンピュータ制御	2後		2		1					
	メカトロニクス 1	2後		2			1				
	機械システムデザイン 2	2後		2		1					
	シミュレーション工学 1	2後		2		1					
						2					
	機械工学概論	2後		2		1					
	ロボット工学概論	2後		2		1					
	宇宙工学概論	2後		2			1				
	制御工学 1	3前		2		1					
	データ解析と信号処理	3前		2		1					
	流体力学	3前		2		1					
	エネルギー工学	3・4前		2			1				
	ロボット運動学	3後		2		1					
	自動車工学	3後		2		1					
	航空力学	3後		2							
	機械システム工学基礎実験	2後		2			1	1			
	固体力学 2	3前		2		1					
	機械力学 2	3前		2		1					
	創造設計 1	3前		2		1					
	シミュレーション工学 2	3前		2			1				
	テクニカルスキルズ	3前		2			1				
	材料・強度設計	3前		2		1					
	伝熱工学	3後		2			1				
	制御工学 2	3後		2		1					
	工学モデル論	3後		2		1					
	人工知能	3後		2		1					

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					備 考
			必 修	選 択	自 由	教 授	准教授	講 師	助 教	助 手	
専 門 科 目 (機 械 系 科 目)	マシンビジョン	3後		2		1					
	コンピュータ応用解析	3後		2		1					
	コンピュータ応用設計	3後		2		1					
	軽構造工学	3後		2		1					
	脳情報学	3後		2			1				
	機械英語	3後		2		1					
	先端機械特別講義 1	3後		1		1					
	創造設計 2	4前		2		1					
	形状創出加工学	4前		2		1					
	メカトロニクス 2	4前		2			1				
	ロボット制御工学	4前		2		1					
	宇宙計測工学	4前		2			1				
	誘導制御	4前		2		1					
	先端機械特別講義 2	4後		1		1					
	卒業研究	4通		8		8	3	1			
専 門 科 目 (電 子・ 光 系 科 目)	通信概論	2前		2		1					
	情報処理概論	2前		2		1					
		2前									
	通信処理概論	2後		2		1					科目の効果的配置による開講時期の変更 (22)
	電磁気学	2後		2			1				
	回路理論 I	2後		2		1					
	電子物性基礎	2後		2		1					
	アルゴリズムとデータ構造	2後		2			1				
	論理回路	2後		2							
	半導体工学	3前		2		1					
	電子デバイス	3前		2		1					
	計算機アーキテクチャ	3前		2							
	回路理論 II	3前		2		1					
	電磁波・光波	3前		2		1					
	信号解析	3前		2			1				
	アナログ回路	3後		2		1					
	デジタル集積回路	3後		2		1					
	デバイスプロセス	3後		2							
	光デバイス	3後		2		1					
	光通信システム	3後		2		1					
		2通				6					
	電子・光システムセミナー1	2後		1		7	3				科目の効果的配置による開講時期の変更、及び退職 (定年) に伴う担当教員の減少 (22)
	電子・光システム工学実験1	2後		2		3	1				
	プログラミング演習	2後		2			1				
	電子・光システムセミナー2	3前		2		6	3				
	電子・光システム工学実験2	3前		2		6	3				
	アナログ・デジタル通信	3前		2							
	量子力学基礎	3前		2							
	電力システム概論	3前		2							
	生体情報工学	3前		2							
	電子工学セミナー1	3後		2		2	2				
	電子工学実験1	3後		2		2	2				
	光エレクトロニクスセミナー1	3後		2		4					
	光エレクトロニクス実験1	3後		2		4					

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					備 考
			必 修	選 択	自 由	教 授	准教授	講 師	助 教	助 手	
専 門 科 目 （電 子 ・ 光 系 科 目）	映像音響メディア	3後		2							
	画像処理	3後		2							
	通信方式	3後		2							
	数値計算法	3後		2							
	コンピュータグラフィックス	3後		2							
	エネルギービーム工学	3後		2							
	量子と光	3後		2							
	電子工学セミナー2	4前		2		2	2				
	電子工学実験2	4前		2		2	2				
	光エレクトロニクスセミナー2	4前		2		3					
	光エレクトロニクス実験2	4前		2		3					
	VLSIシステムデザイン概論	4前		2		1					
	通信機器概論	4前		2		1					
	ウェブメディア	4前		2							
	電波法規	4前		2							
	卒業研究	4通		8		5	3				
専 門 科 目 （建 築 ・ 都 市 デ ザ イ ン 系 科 目）	構造の力学 1	2前		2		1					
	コンクリート工学	2前		2			1				
	まちづくり計画	2前		2		1					
	鉄筋コンクリート	2後		2		1					
		2前									
	社会システム工学概論	2後		2		1					科目の効果的配置による開講時期の変更（22）
	プロジェクトマネジメント	2後		2		1					
	建築構造設計	2後		2			1				
	住宅設計	2後		2			1				
	測量学 2	3前		2		1					
	橋梁工学	3後		2		1					
	構造の力学2	3後		2		1					
	都市計画	3後		2		1					
		2後									
	建築設備設計	2前		2		1					科目の効果的配置による開講時期の変更、及び、 専任教員を追加、オムニバス講義とする（22）
	構造実験	2前		2		1					
	室内環境デザイン	2後		2			1				専任教員採用に伴う、担当教員の変更（22）
	建築史	2後		2		1	1				専任教員採用に伴う、担当教員の変更（22）
	景観デザイン演習	3前		2		1					
	構造設計演習	3前		2		1					
	システム解析	3前		2							
	測量実習	3前		2		1					
	建築デザイン演習	3前		2			1				
	構造物の維持管理	3前		2			1				
	コンストラクションマネジメント	3前		2		1					
	会計総論	3前		2							
	建築計画	3後		2		1					
	木造建築設計	3後		2							
	公共経済学	3後		2							
	経営組織論	3後		2							
	防災システム計画	3後		2		1					
	建築スタジオ演習	3後		2			1				
	ファシリティマネジメント	3後		2		1					

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単 位 数			専任教員等の配置					備 考
			必 修	選 択	自 由	教 授	准教授	講 師	助 教	助 手	
(建 築 ・ 専 門 都 市 デ ザ イ ン 系 科 目)	土質力学	3後		2		1					
	社会システム経営	3後		2							
	リモセンとGIS	4前		2		1					
	建築デザイン特論	4前		2			1				
	居住環境整備計画	4後		2		1					
	景観デザイン特論	4後		2		1					
	耐久・疲労設計	4後		2		1					
	建築法規	4後		2							
	卒業研究	4通		8		4	2				

- (注) ・届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載いただき、届出時より変更されているものは赤字で見え消し修正いただき、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
 - ・「配当年次」について、届出時に開講時期を記載する必要がなかった学部等(平成19年度届出以前)についても、届出時の状況を黒字で記載いただき、平成22年5月1日現在の状況を赤字で見え消し修正してください。

(2) 授業科目数

認可時の計画				変更状況				備 考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
	237		237		248		248	
				[]	[11]	[]	[11]	

- (注) ・未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する(資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。)とともに、[]内に、届出時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

(3) 未開講科目

該当はありません

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由，代替措置の有無

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由，代替措置の有無
1	自己を見つめる	2	1・2・3	一般	選択	放送大学科目の閉講に伴い廃止。代替えとして「哲学への誘い」を追加 (21)
2	宇宙とその歴史	2	1・2・3	一般	選択	「教養の物理学1」で対応可能なため廃止 (21)
3	21世紀の社会学	2	1・2・3	一般	選択	放送大学科目の閉講に伴い廃止。代替えとして「社会学入門」を追加 (22)
4	21世紀の女性と仕事	2	1・2・3	一般	選択	放送大学科目の閉講に伴い廃止。代替えとして「ジェンダーの社会学」を追加 (22)
5	変化する地球環境	2	1・2・3	一般	選択	放送大学科目の閉講に伴い廃止。代替えとして「惑星地球の進化」を追加 (22)

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

「自己を見つめる」について、放送大学科目の閉講に伴い廃止するが、代替えとして、「哲学への誘い」を追加する。また、放送大学科目「宇宙と歴史」に関しては、「教養の物理学1」で対応可能であり、設置計画当初の目的を十分達成できると判断したため、廃止とした。

なお、学生への周知としては、時間割やシラバス等で告知を行うと共に、1年次から開講するセミナーを通して周知し、同時に履修指導を行うアドバイザーから説明を行う。(21)

「21世紀の社会学」、「21世紀の女性と仕事」、「変化する地球環境」について、放送大学科目の閉講に伴い廃止するが、代替えとしてそれぞれ「社会学入門」、「ジェンダーの社会学」、「惑星地球の進化」を追加する。なお、学生への周知としては前年度と同様に、時間割やシラバスにて告知を行い、履修指導等を行うアドバイザーより説明を行う。(22)

(6) 「届出時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

未開講科目と廃止科目の計	5	=	0.02
届出時の計画の授業科目数の計	237		

- (注) 1 「(1) 授業科目表」は、設置届出書の様式第2号(その2)に準じて作成してください。
- 2 「(2) 授業科目数」は、未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する(資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。)とともに、[]内に届出時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)
- 3 「(3) 未開講科目」は、届出時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- 4 「(4) 廃止科目」は、届出時の計画にあった授業科目を何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- 5 「(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」」欄には、授業科目を未開講又は廃止したことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。
- 6 「(6) 「届出時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合」は、小数点以下第3位を切り捨て、小数点第2位までを記入してください。

2 授業科目の概要

2-2<環境理工学群>

(1) 授業科目表

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					備 考
			必 修	選 択	自 由	教 授	准教授	講 師	助 教	助 手	
一 般 科 目	検証：日本の都市	1前・後		1							
	都市問題	1前・後		1							
	人権問題	1前・後		1							
	日本国憲法	1前		2							
	地域共生概論 1										科目追加による名称変更 (22)
	地域共生概論	1前		2							
	地域共生概論 2	2後	2								教育課程充実のため科目を追加 (22)
	文化としての戦略と戦術	1後		2							
	企業研究入門	1後	2			1	1				教育課程充実のため科目を追加 (22)
	現代日本社会における音楽										放送大学科目の閉講に伴い科目変更 (21)
	音楽理論の基礎	1・2・3後		2							
	歴史と人間	1・2・3後		2							
	企業戦略と企業文化	1・2・3後		2							
	生命と人生の倫理	1・2・3後		2							
	社会学入門	1・2・3後									放送大学科目の閉講に伴い科目変更 (22)
	2-1世紀の社会学	1・2・3 前・後		2							科目の効果的配置による開講時期の変更 (21)
		1後									
	基礎心理学	1前・後		2							科目の効果的配置による開講時期の変更 (22)
	教育社会学	1・2・3後		2							
		1・2・3後									
	技術者倫理	1・2・3 前・後		2							科目の効果的配置による開講時期の変更 (21)
		1・2・3後									
	問題発見と解決の技法	1・2・3 前・後		2							
	哲学への誘い	1・2・3後									放送大学科目の閉講に伴い科目変更及び科目の効果的配置による開講時期の変更 (21)
	自己を見つめる	1・2・3 前・後		2							
		1・2・3後									
	社会福祉入門	1・2・3 前・後		2							科目の効果的配置による開講時期の変更 (21)
		1・2・3後									
	人文地理学	1・2・3 前・後		2							科目の効果的配置による開講時期の変更 (21)
		1・2・3後									
世界の名作を読む	1・2・3 前・後		2							科目の効果的配置による開講時期の変更 (21)	
	1・2・3後										
人類の歴史・地球の現在	1・2・3 前・後		2							科目の効果的配置による開講時期の変更 (21)	
	1・2・3後										
道德教育論	1・2・3 前・後		2							科目の効果的配置による開講時期の変更 (21)	
ジェンダーの社会学	1・2・3後									放送大学科目の閉講に伴い科目変更 (22)	
2-1世紀の女性と仕事	1・2・3 前・後		2							科目の効果的配置による開講時期の変更 (21)	
	1・2・3後										
日本語表現法	1・2・3 前・後		2							科目の効果的配置による開講時期の変更 (21)	
初歩のアラビア語	1・2・3後		2							教育課程充実のため科目を追加 (21)	

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					備 考
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
一 般 科 目	ドイツ語入門Ⅰ	1・2・3後 1・2・3 前・後		2							科目の効果的配置による開講時期の変更 (21)
	ドイツ語入門Ⅱ	1・2・3後 1・2・3 前・後		2							科目の効果的配置による開講時期の変更 (21)
	フランス語入門Ⅰ	1・2・3後 1・2・3 前・後		2							科目の効果的配置による開講時期の変更 (21)
	フランス語入門Ⅱ	1・2・3後 1・2・3 前・後		2							科目の効果的配置による開講時期の変更 (21)
	中国語入門Ⅰ	1・2・3後 1・2・3 前・後		2							科目の効果的配置による開講時期の変更 (21)
	中国語入門Ⅱ	1・2・3後 1・2・3 前・後		2							科目の効果的配置による開講時期の変更 (21)
	韓国語入門Ⅰ	1・2・3後 1・2・3 前・後		2							科目の効果的配置による開講時期の変更 (21)
	韓国語入門Ⅱ	1・2・3後 1・2・3 前・後		2							科目の効果的配置による開講時期の変更 (21)
	体育理論	1前・後		1							教員採用に伴う、担当教員の変更 (22)
	体育実技	1前・後		1							担当教員の変更 (22)
	文化としての日本のうた	1前		1							教育課程充実のため科目を追加 (21)
	考古学研究	1前		1							教育課程充実のため科目を追加 (21)
	人文科学特別講義 1	1前		1							教育課程充実のため科目を追加 (21)
	知的財産権と特許	3前		2							
	国際協力フロンティア	1後		2		1					
	技術と安全	2前		2							
	Reading/Listening 1	1前		1							
	Reading/Listening 2	1前		1							
	Science English	1後		1							
	Science Lab	1後		1							
	Thinking in English 1	2前		1							
	Thinking in English 2	2前		1							
	Science Reading1	2後		1							
	Science Reading2	2後		1							
	Global Citizen	3前		2							
	Business/TOEIC English	3前		2							
	Technical Reading	3後		2							
	Technical Presentation/Writing	3後		2							
	スタディスキルズ 1	1前		2							
	スタディスキルズ 2	1後		1							
	キャリア・プラン 1	3通		1							
	キャリア・プラン 2	3後		1							
	チャレンジポイント 1	1・2・3通		1							
	チャレンジポイント 2	1・2・3通		1							
	教養の物理学 1	1前		2			1				担当教員（兼任）の退職に伴う専任教員の追加 (21)
	教養の物理学 2	1前		2		1					
	現代化学の基礎	1後		2		1	1				
	生命科学	1後		2			1				

科目区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置					備 考
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
一般科目	口腔科学	1前		2							教育課程充実のため科目を追加 (21)
	応用化学概論	2後		2		1	1				
	ヒトの生物学	2後		2		1					
	宇宙とその歴史	1・2・3後		2							「教養の物理学1」で対応可能なため廃止 (21)
	エネルギー学の基礎	1・2・3後		2							
	身近な統計	1・2・3後		2							
	科学的な見方・考え方	1・2・3後		2							教育課程充実のため科目を追加 (21)
	技術革新を支える物質の科学	1・2・3後		2							
	バイオサイエンスで豊かな暮らし										
	生物学の歴史	1・2・3後		2							放送大学科目の閉講に伴い科目変更 (22)
	惑星地球の進化										
	変化する地球環境	1・2・3後		2							
	宇宙像の変遷と科学	1・2・3後		2							放送大学科目の閉講に伴い科目変更 (22)
	物質の科学と先端技術	1・2・3後		2							
	基礎数学1	1前		1							
	基礎数学2	1前		1							教育課程充実のため開講時期を変更 (21)
	基礎数学演習	1前		1							
	数学1	1前・後 1前		2							
	数学2	1前・後 1前		2							教育課程充実のため開講時期を変更 (21)
	数学3	1前・後 1後		2							
	数学4	1前・後 1後		2							
	数学5	2前		2							教育課程充実のため開講時期を変更 (21)
	数学6	2前		2							
	数学7	2後		2							
	数学8	2後		2							教育課程充実のため、専任教員を追加 (22)
	コンピュータリテラシー	1前		2			2 1				
	情報科学1	1前		2		1					
	情報科学2	1後		2		1					退職 (定年) に伴う、担当者変更 (22)
	情報科学3	1後		2		2					
専門科目 (工学系共通)	力学基礎	1前		2			2				担当教員の変更 (22)
	力学	1前		2							
	電気回路基礎	1前		2							
	地域活性化システム論Ⅰ										内閣府の事業に合わせ名称変更 (21)
	地域再生システム論Ⅰ	1前		2							
	工学概論	2前		2		3					
	電磁気学基礎	2前		2			2 1				教育課程充実のため、専任教員を追加 (22)
	電子回路基礎	2前		2							
	地球科学概論	2前		2			1				
	技術開発概論	2前		2		1					内閣府の事業に合わせ名称変更 (21)
	マルチメディアプレゼンテーション	2後		2							
	インターンシップ	3後		2		1					
	地域活性化システム論Ⅱ										内閣府の事業に合わせ名称変更 (21)
	地域再生システム論Ⅱ	3後		2							

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					備 考
			必 修	選 択	自 由	教 授	准教授	講 師	助 教	助 手	
専 門 科 目	基礎化学	1前		2			1				担当教員の変更 (22)
	生物材料概論	1前		2		1					
	現代物理学基礎	1前		2		1					担当教員の変更 (22)
	有機化学序論	1後		2		1	1				担当教員の変更 (22)
	細胞生物学	1後		2			1				
	先端科学入門	1後		2		12	7				教育課程充実のため、科目を追加 (22)
	物理化学	2前		2		1	1				
	無機化学	2前		2		1	1				担当教員の変更 (22)
	環境熱科学	2前		2			1				
	機器分析	2前		2		1					教育課程充実のため、科目を追加 (22)
	セミナー1	2後		2		10	6				
							3				
	物理学実験	2後		2		5	2				教育課程充実のため、専任教員を追加 (22)
	生体関連化学	2後		2		1					教育課程充実のため、科目を追加 (22)
	企業見学	3前		1		1					
	生物化学実験	3前		2		4	3				
	セミナー2	4前		2		9	6				
	セミナー3	4後		2		9	6				
	環境概論	1後		2		1					
	有機化学	2前		2		1	1				担当教員の変更 (22)
	生化学	2前		2		1					
	材料の科学	2前		2		1					科目の効果的配置による開講時期の変更 (22)
	計測と解析	2前		2		1					担当教員の変更 (22)
						12	7				
	先進科学への招待	2後		2		10	6				教育課程充実のため、専任教員を追加 (22)
	高分子化学	3後									
	高分子科学	2後		2			1				科目の効果的配置による開講時期の変更と教員変更、及び科目名称の変更 (22)
	生物工学概論	2後		2			1				
	分子遺伝学	2後		2		1					
	材料の構造	2後		2		1					
	材料技術史	2後		2		1					専任教員を追加し、オムニバス講義とする (22)
	地球の活動と資源形成	2後		2		1					
	界面科学	3前		2			1				
	生物環境工学	3前		2			1				
	ナノ材料設計	3前		2		1					
	量子力学基礎	3前		2		1					
	材料プロセスと環境	3前		2		1					
	ライフサイクルアセスメント	3前		2							
	生体生理化学	3後		2		1					
	食品工学	3後		2		1					
	エネルギービーム工学	3後		2		1					
	物質循環システム	3後		2		1					

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備 考
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門科目（化学・生命科学）	醸造工学	3後		2		1					科目の効果的配置による開講時期の変更、及び担当教員の変更（22）
	酵素工学	3後		2			1				
	蛋白質工学	3後		2		1					
		2後									
	分析化学	3後		2			1				
	遺伝子工学	3後		2		1					
	真核分子生物学	3後		2		1					
	卒業研究	4通		8		4	2				
専門科目（ナノ・物質科学）	材料強度の原子論	3後		2		1					
	結晶物理学	3後		2		1					
	半導体工学	3後		2							
	固体物性	3後		2			1				
	統計物理	3後		2			1				
	量子と光	3後		2		1					
	卒業研究	4通		8		4	2				
専門科目（環境科学）	環境化学	3後		2			1				
	環境の物理学	3後		2		1					
	環境材料学	3後		2		1					
	水圏環境工学	3後		2		1					
	生物資源科学	3後		2			1				
	エネルギー工学	3後		2							
	野外環境実習	3後		1		1	2				
	卒業研究	4通		8		4	4				

- （注）・届出書の様式第2号（その2の1）に準じて作成してください。
- ・届出時の授業科目全て（兼任、兼任教員が担当する科目を含む。）を黒字で記載いただき、届出時より変更されているものは赤字で見え消し修正いただき、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
- ・「配当年次」について、届出時に開講時期を記載する必要がなかった学部等（平成19年度届出以前）についても、届出時の状況を黒字で記載いただき、平成22年5月1日現在の状況を赤字で見え消し修正してください。

（2） 授業科目数

認可時の計画				変更状況				備 考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
	149		149		163		163	
				[]	[14]	[]	[14]	

- （注）・未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する（資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。）とともに、[] 内に、届出時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）

(3) 未開講科目

該当はありません

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由，代替措置の有無

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由，代替措置の有無
1	自己を見つめる	2	1・2・3	一般	選択	放送大学科目の閉講に伴い廃止。代替えとして「哲学への誘い」を追加 (21)
2	宇宙とその歴史	2	1・2・3	一般	選択	「教養の物理学1」で対応可能なため廃止 (21)
3	21世紀の社会学	2	1・2・3	一般	選択	放送大学科目の閉講に伴い廃止。代替えとして「社会学入門」を追加 (22)
4	21世紀の女性と仕事	2	1・2・3	一般	選択	放送大学科目の閉講に伴い廃止。代替えとして「ジェンダーの社会学」を追加 (22)
5	変化する地球環境	2	1・2・3	一般	選択	放送大学科目の閉講に伴い廃止。代替えとして「惑星地球の進化」を追加 (22)

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

「自己を見つめる」について、放送大学科目の閉講に伴い廃止するが、代替えとして、「哲学への誘い」を追加する。また、放送大学科目「宇宙と歴史」に関しては、「教養の物理学1」で対応可能であり、設置計画当初の目的を十分達成できると判断したため、廃止とした。

なお、学生への周知としては、時間割やシラバス等で告知を行うと共に、1年次から開講するセミナーを通して周知し、同時に履修指導を行うアドバイザーから説明を行う。(21)

「21世紀の社会学」、「21世紀の女性と仕事」、「変化する地球環境」について、放送大学科目の閉講に伴い廃止するが、代替えとしてそれぞれ「社会学入門」、「ジェンダーの社会学」、「惑星地球の進化」を追加する。なお、学生への周知としては前年度と同様に、時間割やシラバスにて告知を行い、履修指導等を行うアドバイザーより説明を行う。(22)

(6) 「届出時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

未開講科目と廃止科目の計	5	=	0.03
届出時の計画の授業科目数の計	149		

- (注) 1 「(1) 授業科目表」は、設置届出書の様式第2号(その2)に準じて作成してください。
- 2 「(2) 授業科目数」は、未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する(資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。)とともに、[]内に届出時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)
- 3 「(3) 未開講科目」は、届出時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- 4 「(4) 廃止科目」は、届出時の計画にあった授業科目を何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- 5 「(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」」欄には、授業科目を未開講又は廃止したことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。
- 6 「(6) 「届出時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合」は、小数点以下第3位を切り捨て、小数点第2位までを記入してください。

2 授業科目の概要

2-3<情報学群>

(1) 授業科目表

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					備 考
			必 修	選 択	自 由	教 授	准教授	講 師	助 教	助 手	
一 般 科 目	検証：日本の都市	1前・後		1							
	都市問題	1前・後		1							
	人権問題	1前・後		1							
	日本国憲法	1前		2							
	地域共生概論 1										科目追加による名称変更 (22)
	地域共生概論	1前		2							
	地域共生概論 2	2後	2								教育課程充実のため科目を追加 (22)
	文化としての戦略と戦術	1後	2			1					
	企業研究入門	1後	2			1	1				教育課程充実のため科目を追加 (22)
	現代日本社会における音楽										放送大学科目の開講に伴い科目変更 (21)
	音楽理論の基礎	1・2・3後	2								
	歴史と人間	1・2・3後	2								
	企業戦略と企業文化	1・2・3後	2								
	生命と人生の倫理	1・2・3後	2								
	社会学入門	1・2・3後									放送大学科目の開講に伴い科目変更 (22)
	2-1世紀の社会学	1・2・3 前・後	2								科目の効果的配置による開講時期の変更 (21)
		1後									
	基礎心理学	1前・後	2								科目の効果的配置による開講時期の変更 (22)
	教育社会学	1・2・3後	2								
		1・2・3後 1・2・3 前・後	2								科目の効果的配置による開講時期の変更 (21)
	技術者倫理	1・2・3後 1・2・3 前・後	2								
	問題発見と解決の技法	1・2・3後 1・2・3 前・後	2								
	哲学への誘い	1・2・3後 1・2・3 前・後	2								放送大学科目の開講に伴い科目変更及び科目の効果的配置による開講時期の変更 (21)
	自己を見つめる	1・2・3後 1・2・3 前・後	2								
	社会福祉入門	1・2・3後 1・2・3 前・後	2								科目の効果的配置による開講時期の変更 (21)
	人文地理学	1・2・3後 1・2・3 前・後	2								科目の効果的配置による開講時期の変更 (21)
	世界の名作を読む	1・2・3後 1・2・3 前・後	2								科目の効果的配置による開講時期の変更 (21)
	人類の歴史・地球の現在	1・2・3後 1・2・3 前・後	2								科目の効果的配置による開講時期の変更 (21)
	道徳教育論	1・2・3後 1・2・3 前・後	2								科目の効果的配置による開講時期の変更 (21)
	ジェンダーの社会学	1・2・3後 1・2・3 前・後	2								放送大学科目の開講に伴い科目変更 (22)
2-1世紀の女性と仕事	1・2・3後 1・2・3 前・後	2								科目の効果的配置による開講時期の変更 (21)	
日本語表現法	1・2・3後 1・2・3 前・後	2								科目の効果的配置による開講時期の変更 (21)	
初歩のアラビア語	1・2・3後	2								教育課程充実のため科目を追加 (21)	

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					備 考
			必 修	選 択	自 由	教 授	准教授	講 師	助 教	助 手	
一 般 科 目	ドイツ語入門Ⅰ	1・2・3後 1・2・3 前・後		2							科目の効果的配置による開講時期の変更 (21)
	ドイツ語入門Ⅱ	1・2・3後 1・2・3 前・後		2							科目の効果的配置による開講時期の変更 (21)
	フランス語入門Ⅰ	1・2・3後 1・2・3 前・後		2							科目の効果的配置による開講時期の変更 (21)
	フランス語入門Ⅱ	1・2・3後 1・2・3 前・後		2							科目の効果的配置による開講時期の変更 (21)
	中国語入門Ⅰ	1・2・3後 1・2・3 前・後		2							科目の効果的配置による開講時期の変更 (21)
	中国語入門Ⅱ	1・2・3後 1・2・3 前・後		2							科目の効果的配置による開講時期の変更 (21)
	韓国語入門Ⅰ	1・2・3後 1・2・3 前・後		2							科目の効果的配置による開講時期の変更 (21)
	韓国語入門Ⅱ	1・2・3後 1・2・3 前・後		2							科目の効果的配置による開講時期の変更 (21)
	体育理論	1前・後		1							教員採用に伴う、担当教員の変更 (22)
	体育実技	1前・後		1							担当教員の変更 (22)
	文化としての日本のうた	1前		1							教育課程充実のため科目を追加 (21)
	考古学研究	1前		1							教育課程充実のため科目を追加 (21)
	人文科学特別講義 1	1前		1							教育課程充実のため科目を追加 (21)
	知的財産権と特許	3前		2		1					
	国際協力フロンティア	1後		2							
	技術と安全	2前		2							
	Reading/Listening 1	1前		1		1					
	Reading/Listening 2	1前		1		1					
	Science English	1後		1							
	Science Lab	1後		1							
	Thinking in English 1	2前		1							
	Thinking in English 2	2前		1							
	Science Reading1	2後		1							
	Science Reading2	2後		1							
	Global Citizen	3前		2							
	Business/TOEIC English	3前		2		1					
	Technical Reading	3後		2							
	Technical Presentation/Writing	3後		2							
	スタディスキルズ 1	1前		2							
	スタディスキルズ 2	1後		1							
	キャリア・プラン 1	3通		1							
	キャリア・プラン 2	3後		1							
	チャレンジポイント 1	1・2・3通		1							
	チャレンジポイント 2	1・2・3通		1							
	教養の物理学 1	1前		2							担当教員（兼任）の退職に伴う専任教員の追加 (21)
	教養の物理学 2	1前		2							
	現代化学の基礎	1後		2							
	生命科学	1後		2							

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					備 考
			必 修	選 択	自 由	教 授	准教授	講 師	助 教	助 手	
一 般 科 目	口腔科学	1前		2							教育課程充実のため科目を追加(21)
	応用化学概論	2後		2							
	ヒトの生物学	2後		2							
	宇宙とその歴史	1・2・3後		2							「教養の物理学1」で対応可能なため廃止(21)
	エネルギー学の基礎	1・2・3後		2							
	身近な統計	1・2・3後		2							
	科学的な見方・考え方	1・2・3後		2							
	技術革新を支える物質の科学	1・2・3後		2							教育課程充実のため科目を追加(21)
	バイオサイエンスで豊かな暮らし										放送大学科目の閉講に伴い科目変更(21)
	生物学の歴史	1・2・3後		2							
	惑星地球の進化										放送大学科目の閉講に伴い科目変更(22)
	変化する地球環境	1・2・3後		2							
	宇宙像の変遷と科学	1・2・3後		2							
	物質の科学と先端技術	1・2・3後		2							
	基礎数学1	1前		1							
	基礎数学2	1前		1							
	基礎数学演習	1前		1							
	数学1	1前・後 1前		2							教育課程充実のため開講時期を変更(21)
	数学2	1前・後 1前		2							教育課程充実のため開講時期を変更(21)
	数学3	1前・後 1後		2							教育課程充実のため開講時期を変更(21)
	数学4	1前・後 1後		2							教育課程充実のため開講時期を変更(21)
	数学5	2前		2							
	数学6	2前		2							
	数学7	2後		2							
	数学8	2後		2							
	コンピュータリテラシー	1前		2		1					
専 門 科 目 (工学系共通)	情報科学1	1前		2			1	1			教員採用に伴う、担当教員の追加(22)
	情報科学2	1後		2			1	1			教員の職位変更に伴う変更(21)
	情報科学3	1後		2				1			
	力学基礎	1前		2							
	力学	1前		2							
	電気回路基礎	1前		2							
	地域活性化システム論Ⅰ										内閣府の事業に合わせ名称変更(21)
	地域再生システム論Ⅰ	1前		2							
	工学概論	2前		2		1	1	1			教員の職位変更に伴う変更(21)
	電磁気学基礎	2前		2							
	電子回路基礎	2前		2							
	地球科学概論	2前		2							
	技術開発概論	2前		2							
	マルチメディアプレゼンテーション	2後		2							
	インターンシップ	3後		2		1					
	地域活性化システム論Ⅱ										内閣府の事業に合わせ名称変更(21)
	地域再生システム論Ⅱ	3後		2							

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					備 考
			必 修	選 択	自 由	教 授	准教授	講 師	助 教	助 手	
専 門 科 目	情報学群ガイダンス	1前		2		7	3 2	4 5			教員の職位変更に伴う変更 (21)
	応用コンピュータリテラシー	1前		2				1			
	情報代数	1前		2		1					
	情報と倫理	1前		2		1					
	通信網概論	1前		2		1					
	計算機システム	1前		2		1					
	離散数学	1後		2		1					教育課程充実のため担当教員（兼担）を追加 (22)
	情報メディア概論	1後		2				1			
	感覚・神経生物学	2前		2				1			教員採用に伴い、担当教員の変更 (22)
	計算機言語	2前		2				1			
	情報と職業	2前		2		1					
	信号理論基礎	2前		2			1				
	オートマトンと形式言語	2前		2		1	1	1			担当教員の変更 (22) 教員の職位変更に伴う変更 (21)
	情報理論基礎	2前		2		1					教育課程充実のため担当教員（兼担）を追加 (22)
	アルゴリズムとデータ構造	2前		2				1			
		2前									
	知覚と認識	2後		2		1					科目の効果的配置による開講時期の変更 (22)
	画像処理	2後		2		1					
	数値計算法	2後		2		1	1				教員採用に伴い、担当教員の変更 (22)
	映像音響メディア	2後		2		2					
	通信方式	2後		2		1					
	論理回路	2後		2		1					
	認知心理学	3前		2		1		1			
	ウェブメディア	3前		2				1			
	パターン認識と理解	3前		2				1			
	情報セキュリティ	3前		2		1					
	計算機ネットワーク	3前		2				1			
	アナログ・デジタル通信	3前		2			1				
	計算機アーキテクチャ	3前		2		1					
	符号理論	3前		2		1					
	データベースシステム	3前		2			1				
	ソフトウェア工学	3後		2			1	1			教員の職位変更に伴う変更 (21)
	人工知能基礎	3後		2				1			
	HCI概論	3後		2			1				
	学習と推論	3後		2							
	脳情報学	3後		2							
	メディアコミュニケーション	3後		2		1					
	コンピュータグラフィックス	3後		2		1					
	情報ネットワーク設計	3後		2		1					
	ワイヤレスアクセスネットワーク	3後		2			1				
	オペレーティングシステム	3後		2				1			
	コンパイラ	3後		2				1			
				4							
	情報学群実験第 1	2前		2			1	1			教育内容の充実のため、開講期間における講義回数 の増加に伴う単位数の変更 (22)
				4			2				教育内容の充実のため、開講期間における講義回数 の増加に伴う単位数の変更及び担当教員の追加 (22)
	情報学群実験第 2	2後		2			1	2			教員の職位変更に伴う変更 (21)

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					備 考
			必 修	選 択	自 由	教 授	准教授	講 師	助 教	助 手	
専 門 科 目	情報学群実験第3 i	3前		2			1				教員の職位変更に伴う変更（21）
	情報学群実験第4 i	3前		2			1				
	情報学群実験第3 C	3前		2				2			
	情報学群実験第4 C	3前		2				2			
	情報学群セミナー	3前		2		1					
	情報学群特別講義	4前		2		1					
							3	4			
	プロジェクト研究 1	4前		2		7	2	5			
							3	4			
	プロジェクト研究 2	4前		2		7	2	5			
						3	4				
	プロジェクト研究 3	4後		4		7	2	5			
							3	4			
	卒業研究	4通		8		7	2	5			

- (注) ・届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載いただき、届出時より変更されているものは赤字で見え消し修正いただき、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
- ・「配当年次」について、届出時に開講時期を記載する必要がなかった学部等(平成19年度届出以前)についても、届出時の状況を黒字で記載いただき、平成22年5月1日現在の状況を赤字で見え消し修正してください。

(2) 授業科目数

認可時の計画				変更状況				備 考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
	144		144		155		155	
				[]	[11]	[]	[11]	

- (注) ・未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する(資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。)とともに、[]内に、届出時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

(3) 未開講科目

該当はありません

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由，代替措置の有無

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由，代替措置の有無
1	自己を見つめる	2	1・2・3	一般	選択	放送大学科目の閉講に伴い廃止。代替えとして「哲学への誘い」を追加 (21)
2	宇宙とその歴史	2	1・2・3	一般	選択	「教養の物理学1」で対応可能なため廃止 (21)
3	21世紀の社会学	2	1・2・3	一般	選択	放送大学科目の閉講に伴い廃止。代替えとして「社会学入門」を追加 (22)
4	21世紀の女性と仕事	2	1・2・3	一般	選択	放送大学科目の閉講に伴い廃止。代替えとして「ジェンダーの社会学」を追加 (22)
5	変化する地球環境	2	1・2・3	一般	選択	放送大学科目の閉講に伴い廃止。代替えとして「惑星地球の進化」を追加 (22)

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

「自己を見つめる」について、放送大学科目の閉講に伴い廃止するが、代替えとして、「哲学への誘い」を追加する。また、放送大学科目「宇宙と歴史」に関しては、「教養の物理学1」で対応可能であり、設置計画当初の目的を十分達成できると判断したため、廃止とした。

なお、学生への周知としては、時間割やシラバス等で告知を行うと共に、1年次から開講するセミナーを通して周知し、同時に履修指導を行うアドバイザーから説明を行う。(21)

「21世紀の社会学」、「21世紀の女性と仕事」、「変化する地球環境」について、放送大学科目の閉講に伴い廃止するが、代替えとしてそれぞれ「社会学入門」、「ジェンダーの社会学」、「惑星地球の進化」を追加する。なお、学生への周知としては前年度と同様に、時間割やシラバスにて告知を行い、履修指導等を行うアドバイザーより説明を行う。(22)

(6) 「届出時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

未開講科目と廃止科目の計	5	=	0.03
届出時の計画の授業科目数の計	144		

- (注) 1 「(1) 授業科目表」は、設置届出書の様式第2号(その2)に準じて作成してください。
- 2 「(2) 授業科目数」は、未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する(資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。)とともに、[]内に届出時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)
- 3 「(3) 未開講科目」は、届出時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- 4 「(4) 廃止科目」は、届出時の計画にあった授業科目を何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- 5 「(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」」欄には、授業科目を未開講又は廃止したことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。
- 6 「(6) 「届出時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合」は、小数点以下第3位を切り捨て、小数点第2位までを記入してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考			
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	高知工科大学 マネジメント学部 と共用			
	校 舎 敷 地	m ²	150, 070 m ²	m ²	150, 070 m ²				
	運動場用地	m ²	m ²	m ²	m ²				
	小 計	m ²	m ²	m ²	m ²				
	そ の 他	m ²	m ²	m ²	m ²				
	合 計	m ²	150, 070 m ²	m ²	150, 070 m ²				
(2) 校 舎		専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計				
		13, 124 m ² (13, 124 m ²)	39, 892 m ² (39, 892 m ²)	0 m ² (0 m ²)	53, 016 m ² (53, 016 m ²)				
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設				
	室	室	室	(補助職員 人)	(補助職員 人)				
(4) 専任教員研究室		新設学部等の名称			室 数				
					室				
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等 の名称	図 書 〔うち外国書〕	学術雑誌 〔うち外国書〕		視聴覚資料	機械・器具	標 本		
		冊	種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	点	点	点		
		()	()	()	()	()	()		
		()	()	()	()	()	()		
計		()	()	()	()	()	()		
(6) 図 書 館	面 積		閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数				
	m ²								
(7) 体 育 館	面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要						
	m ²								
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	届出学群全体 ※教員1人当り研究費 等は平均額を記入。 ※共同研究費は大学全 体分を記入。
		教員1人当り研究費等	2,465千円	2,460千円	図書購入費	12,482千円	12,482千円	12,482千円	
	学生1人 当り 納付金	共 同 研 究 費 等	75,524千円	70,910千円	設備購入費	23,381千円	22,838千円	21,206千円	公立大学法人への移行 による変更(21)
		第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次		
		835.8千円 (県内 685.8千円) + 540千円	535.8千円 1,240千円	535.8千円 1,240千円	535.8千円 1,240千円	— 千円	— 千円		
学生納付金以外の維持方法の概要		運営費交付金(地方交付税)、 私立大学等経常費補助金、 資産運用収入、雑収入 等							

(注) ・届出時の計画を設置届出書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。

- ・「(3) 教室等」「(5) 図書・設備」等について、届出時に数値を記載する必要がなかった学部等(平成20年度届出以前)については、届出時の数値の記載は不要ですが、平成22年5月1日現在の数値を赤字で記入してください。
届出時に数値を記載した学部等(平成21年度届出以降)については、届出時の数値を黒字で記載いただき、平成22年5月1日現在の状況を赤字で見え消し修正してください。
- ・運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
- ・「(5) 図書・設備」については、上段に完成年度の予定の数値を、下段には平成22年5月1日現在の数値を記入してください。
- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(22)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、黒字で記入してください。

4 既設大学等の状況

大学 の 名 称	高 知 工 科 大 学								備 考
既設学部等の名称	修業 年限	入 学 定 員	編入学 定 員	収 容 定 員	学位又 は称号	定 員 超 過 率	開 設 年 度	所在地	
マネジメント学部									
マネジメント学科	4	100	—	400	学士 (マネジメント学)	0.99	平成 20年度		平成20年度から 入学定員変更
工学部			3年次						
物質・環境システム工学科	4	72	2	168 260 352	学士 (工学又は学術)	—	平成 9年度		92→72
知能機械システム工学科	4	72	2	168 260 352	学士 (工学又は学術)	—	平成 9年度		92→72
電子・光システム工学科	4	72	2	168 260 352	学士 (工学又は学術)	—	平成 9年度		92→72
情報システム工学科	4	72	2	168 260 352	学士 (工学又は学術)	—	平成 9年度		92→72
社会システム工学科	4	72	2	168 260 352	学士 (工学又は学術)	—	平成 9年度		92→72
大学院 工学研究科 基盤工学専攻									学年進行のため収容 定員の変更(22) 学年進行のため収容 定員の変更(21) 「平成21年度より1 年次学生募集停止」 「平成23年度より3 年次編入学募集停 止」
修士課程	2	150	—	300	修士 (工学又は学術)	0.86	平成 11年度		
博士課程後期	3	60	—	180	博士 (工学又は学術)	0.32	平成 11年度		

(注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が、既に設置している全ての大学の学部、学部の学科、短期大学の学科及び高等専門学校学科について、大学、短期大学又は高等専門学校ごとに、平成22年5月1日現在の状況を記入してください。

(専攻科に係るものについては、記入する必要はありません。)

- ・設置届出書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。
- ・「定員超過率」には、過去標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点第2位まで(小数点第3位を切り捨て)を、学科(短期大学において専攻課程を設置している場合には、専攻課程)単位で記入してください。なお、学生募集停止を行った学科(短期大学において専攻課程を設置している場合には、専攻課程)の記載は不要です。
- ・学生募集を停止している学部等がある場合、入学定員と収容定員は「—」とし、「備考」に「平成〇年より学生募集停止」と記入してください。

6 留意事項に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設置計画履行状況 調 査 時 (21年5月)	該当なし		

- (注) ・「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された留意事項に対する履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料を添付してください。
- ・ 入学定員超過に係る留意事項への履行状況については、指摘を受けた学科等についてのみ記入してください。
 - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。

7 その他全般的事項

＜システム工学群・環境理工学群・情報学群＞

（１）設置計画変更事項等

届 出 時 の 計 画	変更内容・状況、今後の見通しなど
該当はありません	

- （注）・ 1～6の項目により記入した事項以外で、届出時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
- ・ 設置届出書の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。（記入例参照）

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD活動含む）

本学は「教員評価システム」を導入し、大学が教員に期待する項目を提示し、活動実績の報告を求め、その総合点によって各教員を評価することを行っている。このシステムは、教育、研究、社会貢献、大学運営に対する貢献により構成され、各教員は具体的に求められる教員像をイメージし、それに対する自己の取り組みが可能となる。また、この評価項目の中には学生の授業評価も含まれており、授業の改善にも繋がっている。この学生の授業評価とは別に「The Teacher of the year」として、その年に最も優れた授業を行った教員を学生が投票で選び、表彰する制度も有しており、この賞を受賞した教員による講演会などが行われている。

また、教育の手法に関しては「教育セミナー」を、研究の手法については「研究セミナー」を開催しており、より優れた研究、よりすばらしい授業を行うため、積極的に研修会を行っている。

なお、開学時から「サバティカル・クォータ」を設定し、授業時間の4分の1（2ヶ月間）は担当授業を配当しないことで、その前または後の休業期間を加えて、自己研鑽のためのまとまった期間とすることができる。

特に、FD活動において、平成22年度より本格的にSPOD（四国地区大学教職員能力開発ネットワーク：平成20年度文部科学省戦略的大学連携支援授業として、愛媛大学が代表校となり申請）に参画し、その他フォーラム等を含めると35回の開催テーマにのべ58名が参加し、各々が教育力の向上に努めることができた。

① 実施体制

a 委員会の設置状況／b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）／c 委員会の審議事項等

FDに特化した委員会は設置していない。

「教育セミナー」・・・教育本部で実施

「研究セミナー」・・・研究本部で実施

② 実施状況

a 実施内容

- ・ 授業方法についての研修会としての「教育セミナー」
- ・ 研究方法についての研修会としての「研究セミナー」
- ・ 学生による授業評価アンケート
- ・ 新任教員のための研修会

b 実施方法

「教育セミナー」／「研究セミナー」

少人数で行うディスカッション中心のセミナー。

プレゼンターから、約20分間のプレゼンテーションを行い、その後70分間のディスカッションを行う。

終了後、セミナー概要を学内WEBに公開。

「授業評価アンケート」

各学期終了時に、アンケートを実施。回答率は平均して75%。この結果は学内WEBに公開。

「新任教員のための研修会」

新任教員全員を対象に、教育本部長からスクール形式での研修を実施。

c 開催状況（教員の参加状況含む）

「教育セミナー」／「研究セミナー」

それぞれ年間10回程度開催、学群長から指名を受けた者と、全学に呼びかけを行い、希望者が参加。

「新任教員のための研修会」

就任直後の4月に新任教員全員を対象に実施。

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

教員評価、授業評価アンケートのフィードバックを行い、個々の教員が結果を踏まえた授業改善に取り組んでいる。

なお、授業評価結果・研究活動・社会貢献を加味した教員評価によって、昇進、昇給が決定される。

(注) ・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

(システム工学群)

機械、電子、建築土木という工学の基幹である3分野を包含することで、ものづくりの基本となる共通の自然法則や原理を広い視野から俯瞰できる技術者の育成が本学群の目標である。開設後1年が経過したが、3分野共通の基礎科目である力学関係やデザイン関係の講義、さらには3分野の基礎実験をほぼ全ての学生が履修しており、教育目標が十分達成されているとともに、本学群の趣旨が学生にも浸透していると考えられる。昨年度1年間に機械系、電子系、建築系の配属希望調査を計3回実施し、その都度、結果を学生に周知することで、学生の希望する系への意思を徐々に固めることができた。そして、昨年度末に最終決定という流れであったが、ほぼ全ての学生が希望通りの系に配属することとなった。

1回生については、今年度も昨年度と同様、学外でのオリエンテーション合宿でスタートすることとし、また、4月中旬の早い時期に実施することもできたため、より早い時期での意識付けができつつある。1回生には、特に、この1年間に希望専攻の意思決定をさせること、学生実験科目の増設を視野に入れた実験・実習教育のより一層の充実を図ることが今年度の課題である。

今後も、設置の趣旨の実現に向け、様々な努力を続けていく。

(環境理工学群)

本年は開設2年目にあたり、設置の趣旨・目的の達成に向けてさらに努力を継続している状況である。カリキュラム構成の年次構成が、従前の理工系学部のカリキュラムと大きく異なり、1-2年次において、化学、生物、物理学、地球科学など自然科学全体の素養を幅広く身に付け、3年次以降の応用、専門分野を深く学ぶための基礎力の修得を目指し、指導を行っている。また、全学共通の履修システムの改定により、多様な科目の履修が可能となったため、学生は進級するにつれ、幅広い分野あるいは学際領域にも接することが可能となった。来年度は1期生が専攻配属となる初めての年となるため、各学生によりきめ細かな指導を心掛ける。

また、地域の高等学校等との連携教育プログラムは、過去の実績を発展的に継続するために仕組み、方法の検討を始めた。今後も、設置の趣旨の実現に向けて努力を続けていく。

(情報学群)

開設2年目に際して、設置の趣旨・目的の達成にむけて引き続き努力している。計画通り、1年次から専門科目を履修できる体系的な4年間一貫のカリキュラムを編成し、大学共通科目及び専門科目を連携した講義を開講している。

また、2年次修了時点での主専攻・副専攻の選択に備えて、各学生の修学目的を明確化するために、各専攻のカリキュラムや専攻修了後の進路についてもガイダンスを実施した。同時に、科目間のプレレキジット(prerequisite)を学生に明示し、各学生がアドバイザー教員と相談しながら、各自の個性や興味に応じた自分専用カリキュラムを構築する体制を整えた。

今後も、設置の趣旨の実現に向け、様々な努力を続けていく。

② 自己点検・評価報告書

a 公表(予定)時期

- ・本学では開学以来、定期的な自己点検評価を行っており、今後も継続して行っていく。昨年度その予定であったが、③への記述の通り、平成24年度に2度目の認証評価を受ける予定である。なお、前回の認証評価の結果は本学ホームページで公表している。

b 公表方法

- ・「高知工科大学自己点検・評価報告書 一大学基準協会による加盟判定審査ならびに認証評価結果」としてまとめ、ホームページへ掲載するとともに第三者への配布を行っている。

③ 認証評価を受ける計画

- ・平成22年度に評価機関で認証評価を受ける予定であったが、公立大学法人への設置者変更、及び工学部の再編(届出)等があったため、認証評価機関と相談の上、平成24年度に第2回目の評価を受ける予定である。

(注)・届出時の計画の変更(又は未実施)の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(4) 情報提供に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

- a ホームページに公表の有無 (☒ 有 ・ ☐ 無)
- b 公表予定時期 (平成 22 年 6 月 末 日)
- c 文部科学省ホームページから、貴学ホームページの「設置計画履行状況報告書」掲載ページへのリンク
(☒ 承諾する ・ ☐ 承諾しない)
- d 上記で「承諾する」を選んだ場合、そのリンク先のアドレス
(http://www.kochi-tech.ac.jp/kut_J/houzin/ninka.html)

(注) ・ 「c」において「承諾する」場合、文部科学省のホームページにてリンク先を掲載しますので、大学等のトップページではなく直接リンクする先を「d」に記入してください。

なお、「d」のリンク先のアドレスが未定の場合は、決まり次第、文部科学省高等教育局大学設置室あてに、メールにてご報告ください。

※大学設置室メールアドレス : d-secchi@mext.go.jp

件名は「【調査係あて】AC報告書等HPリンク先(〇〇大学)」としてください。